

市町村による提案・実施実施事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 23 年度

市町村名	志木市			
提案事業名	志木市みんなでマナーアップ事業			
事業期間	23 年度	～	23 年度	
事業の必要性、目的	志木駅周辺においては、放置自転車、路上喫煙、道路横断など、ルール・マナーが必ずしも遵守されていない状況にあることから、全市民を対象にマナーアップの取組を推進する必要がある。このため、放置自転車等防止のための指導、路上喫煙防止のための指導の徹底を図ることにより、マナーアップに努める。特に、志木駅東口については、バス利用者が立体歩道を利用せず、1日当たり約1,600人の歩行者が道路（ロータリー）内を横断している状況にあることから、交通ルールの遵守とマナーアップを呼び掛けるとともに、ルール・マナー違反を引き起こす原因を取り除くために、バス乗り場の配置変更を行う必要がある。			
成果指標	（成果を検証する指標） 志木駅東口駅前広場ロータリー横断者数			
	（成果検証の具体的な方法） 志木駅東口駅前広場ロータリー横断者数調査により検証			
	（上記の指標を設定した理由） 最も深刻と考えられるルール・マナー違反の改善状況が把握できる。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （23年3月現在）	1,600人（1日）	目標値 （25年3月時点）	0人（1日）
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ・広報において目標値を住民に公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成23年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 志木駅東口駅前広場安心・安全化改修工事	ハード ソフト 実行委 間接補 1,600人の歩行者の道路（ロータリー）内横断というルール・マナー違反を誘発する要因を取り除くために、志木駅東口のバス乗り場の配置変更等のための工事を行う。	60,000
② 放置自転車等防止指導事業	ハード ソフト 実行委 間接補 マナーアップを図るために、志木駅周辺の自転車放置整理区域内において、放置防止指導員を増員配置し、放置防止の指導を行う。	14,207
③ 路上喫煙防止事業	ハード ソフト 実行委 間接補 マナーアップを図るために、志木駅周辺の路上喫煙禁止地区において、喫煙禁止の指導を行う。	7,201
④	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑤	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑥	ハード ソフト 実行委 間接補	
合計		81,408

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	多くの者が立体歩道を通りしなくてもバスを利用できるようにバス乗り場の配置を変更することにより、ロータリー横断者の根絶を図る。
成果指標の達成見込み	バス乗り場の配置変更により駅とバス乗り場とが直結され、バス利用者のうち立体歩道の通行が必要な者は駅以外の場所から来る者等に限られることから、成果指標の目標値は達成できるものと考えられる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

- ・提案事業の事業期間は2カ年までとすること
- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「実行委」 商工会、観光協会、地域づくり団体等が市町村とともに設置した実行委員会で、事務局が市町村に置かれているもの(実行委員会による事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所、自治会、ボランティア団体等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、実行委員会による事業の場合又は間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。